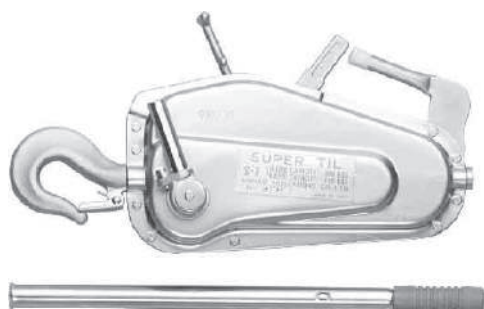


日本製

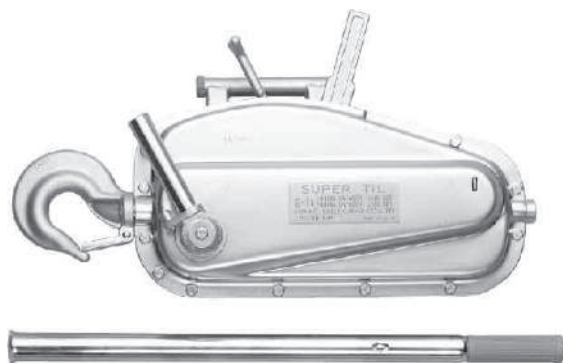
HONKO

取扱説明書

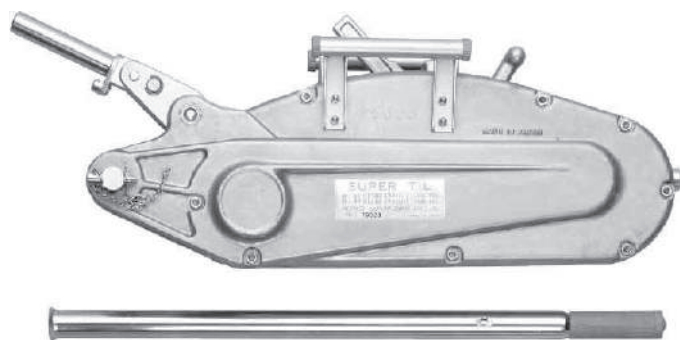
スーパーチル



S-7



S-15



S-35



注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

- このたびは当社のスーパーチルをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

目 次

1. 安全にお使いいただくために…… 1
2. 各部の名称…… 2
3. 仕様…… 4
4. 使用方法…… 4
5. 調整方法と保管方法…… 1 3

1. 安全にお使いいただくために

- この取扱説明書は、本機を安全に正しくご使用していただくために作成しています。
本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。
- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■ この取扱説明書は、注意事項のランクを下記のように区分しています。



危険

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が極めて大きい場合。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性のある場合、及び物的損害が発生する可能性がある場合。

注意事項：安全のための具体的内容、及び本機の保護と本機の性能を十分に発揮させるための注意。

- 注意事項に記載した内容も、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

- ワイヤーはメーカー指定以外の物は使用しないでください。
- 能力以上の荷重をかけての使用はしないでください。事故やケガ、製品破損の原因になる場合があります。
- 過負荷をかけた場合は、安全ピンが破断します。これにより索引操作が不能になるとともに、お客様に作業が危険であることを警告します。
- ワイヤーロープに規定以上の荷重をかけないでください。規定以上の加重がかかると、ワイヤーロープが切断して事故の原因になる場合があります。
- 使用前には必ずワイヤーロープを点検し、キズやキンク・索線切れなどが無いか確認してください。もしあった場合は、使用しないで別のワイヤーロープを使用してください。
- 牽引作業中に開放レバーを開放しないでください。

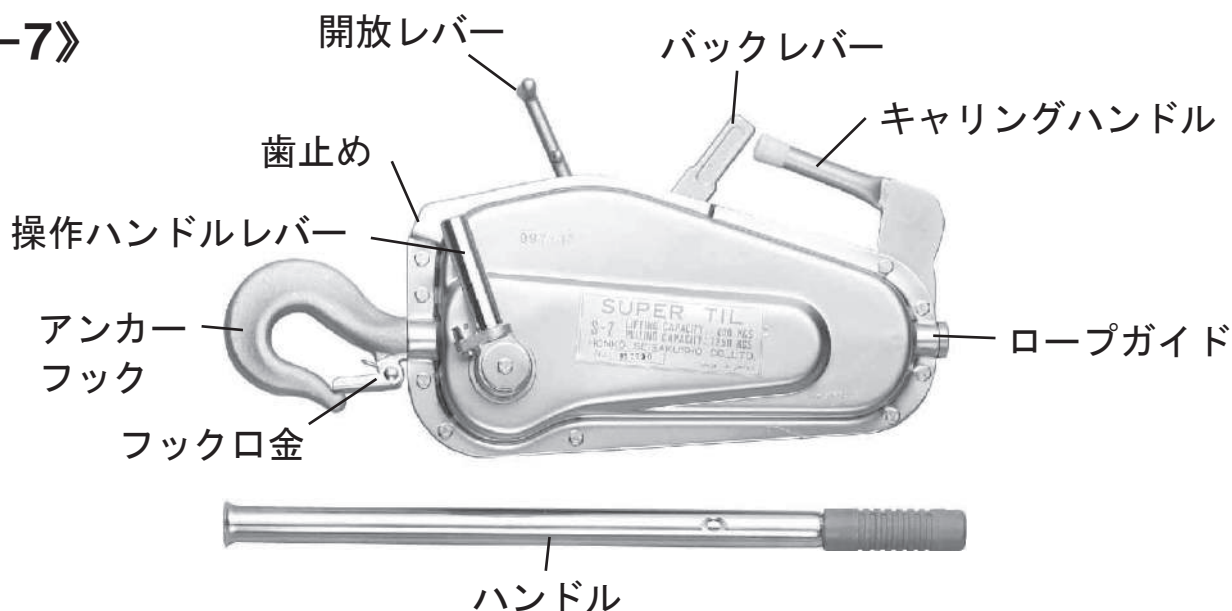


注意

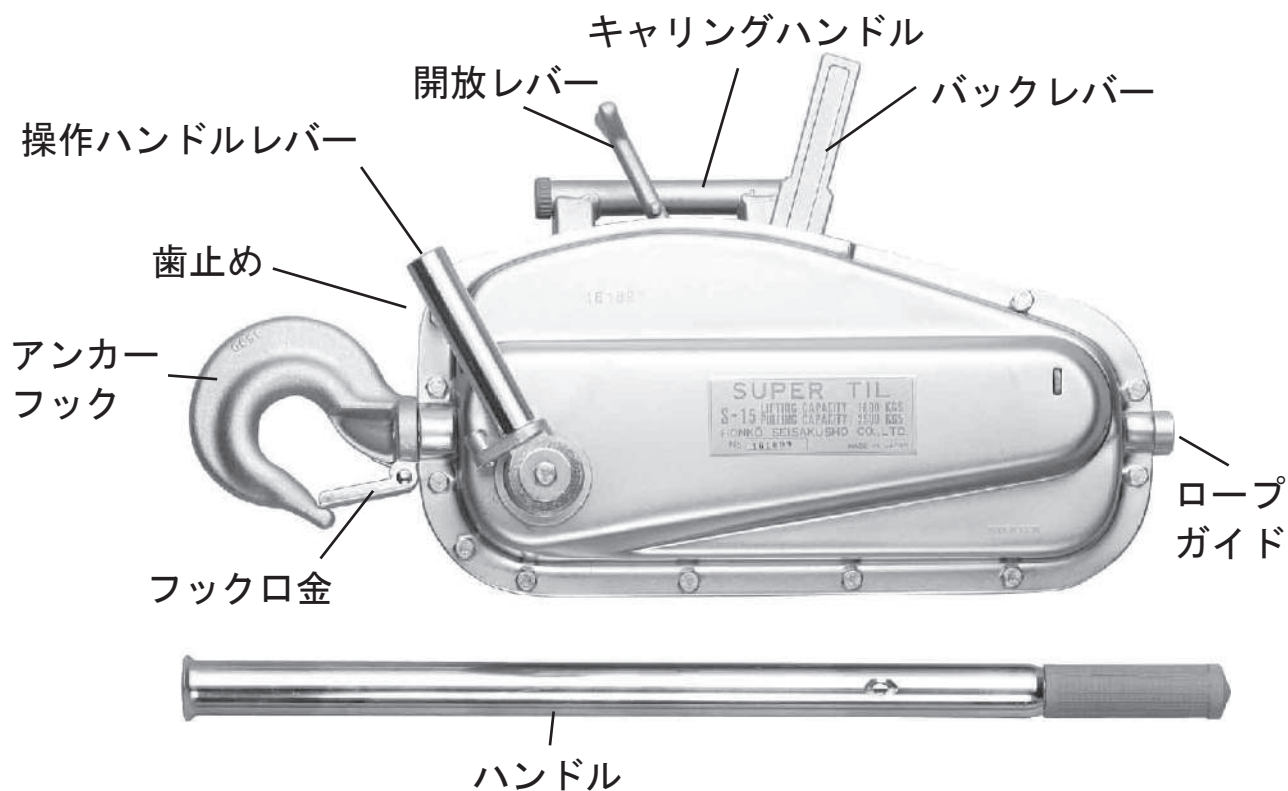
- 使用される前に必ず製品各部を点検し、部材の変形や損傷等が無いか確認してからご使用ください。
- 製品の異常が無いか定期点検をしてください。
- 本製品を改造しないでください。
- 本製品を取り扱う場合は、安全のため手袋を着用してください。
- 操作ハンドルレバーとバックレバーを同時に操作しないでください。
- 本製品を決して分解点検をしないでください。
- ハンドル伸縮時に手や指を挟まないように注意してください。

2、各部の名称

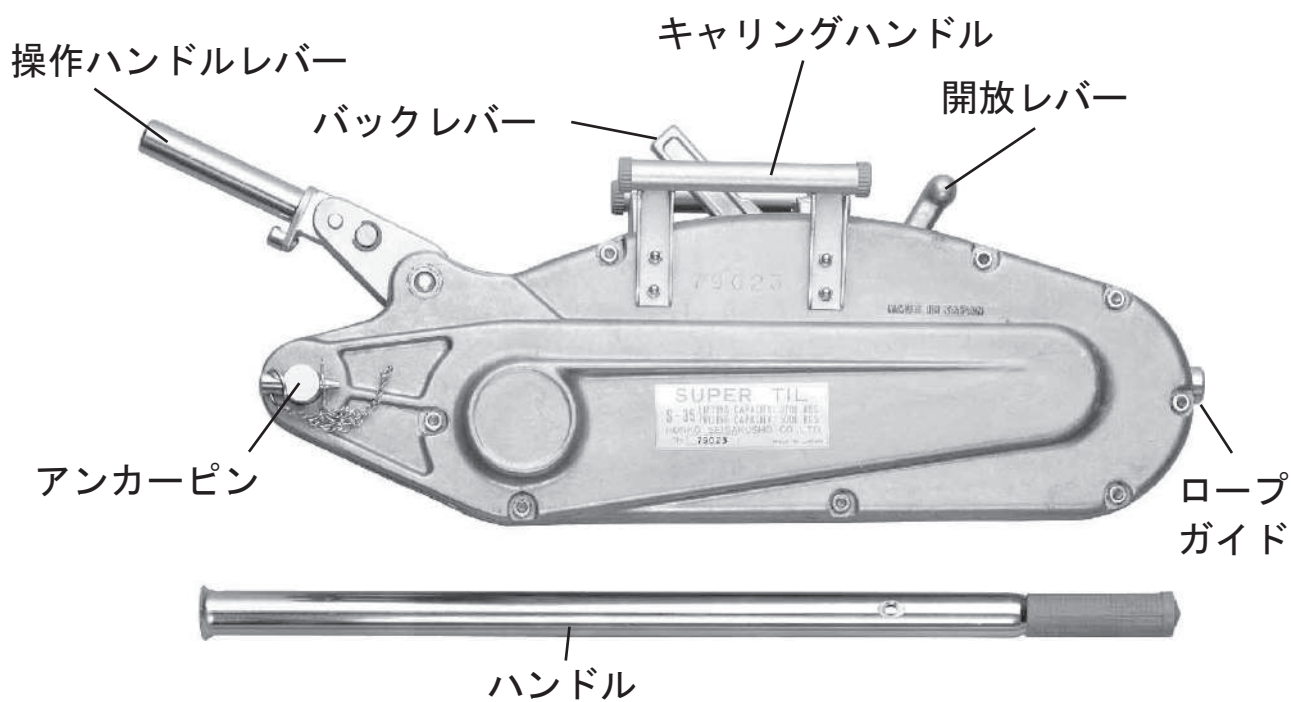
《S-7》



《S-15》



《S-35》



3、仕様

名称	スーパーチル	スーパーチル	スーパーチル
型式	S-7	S-15	S-35
吊上げ能力	800kgf	1,600kgf	3,200kgf
横引能力	1,250kgf	2,500kgf	5,000kgf
揚程	無制限	無制限	無制限
標準付属ワイヤー	9mm×20m	12mm×20m	16mm×10m
ハンドルの長さ	515～790mm	660～1,035mm	745～1,200mm
本体重量	7.5kg	17.6kg	28.1kg
サイズ	510×255×105mm	620×335×150mm	710×410×165mm

4、使用方法

(1) ワイヤーロープの取付

①台付けワイヤーで本体を固定します。



危険

台付けを行う時は、図のようにアンカーフックに確実に台付けワイヤーロープをかけてください。

確実にかけないと、重大な事故の危険がありますので、注意してください。

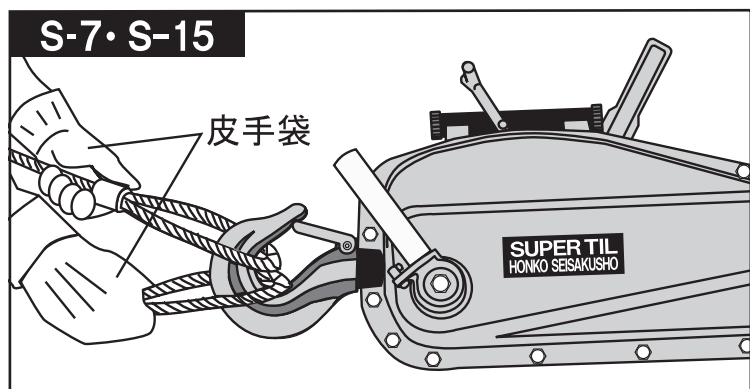
《S-7・S-15》

台付けワイヤーロープを確実にアンカーフックにかけてください。



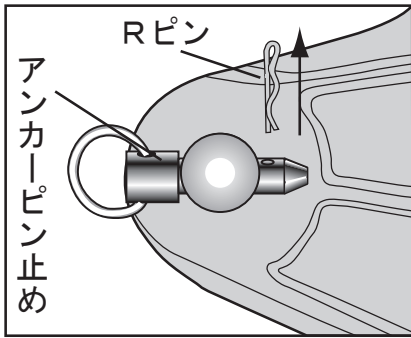
注意

作業をする場合は、皮手袋を着用してください。

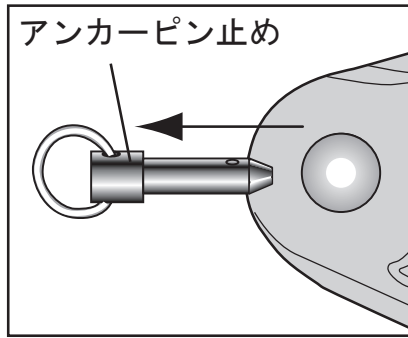


《S-35》

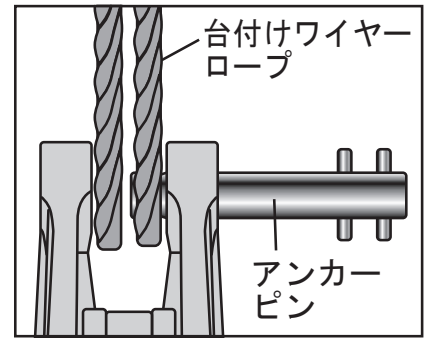
a) アンカーピン止めのRピンを外します。



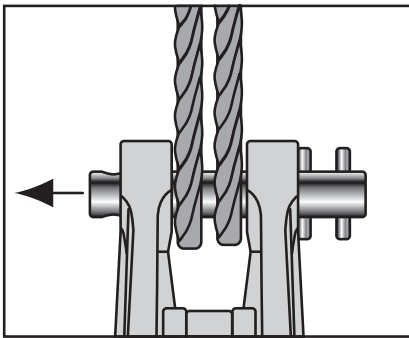
b) アンカーピン止めを抜きます。



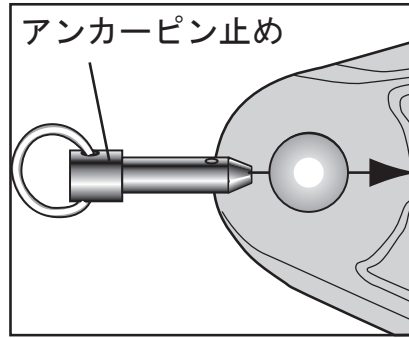
c) アンカーピンをずらして台付けワイヤーロープをかけます。



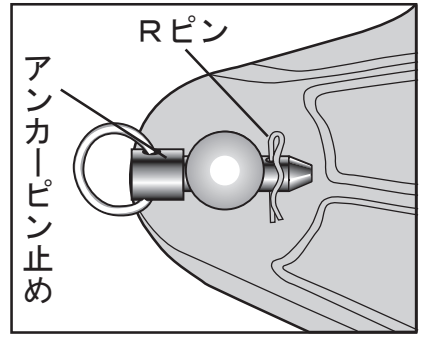
d) アンカーピンを差し込みます。



e) アンカーピン止めをアンカーピンに差し込みます。

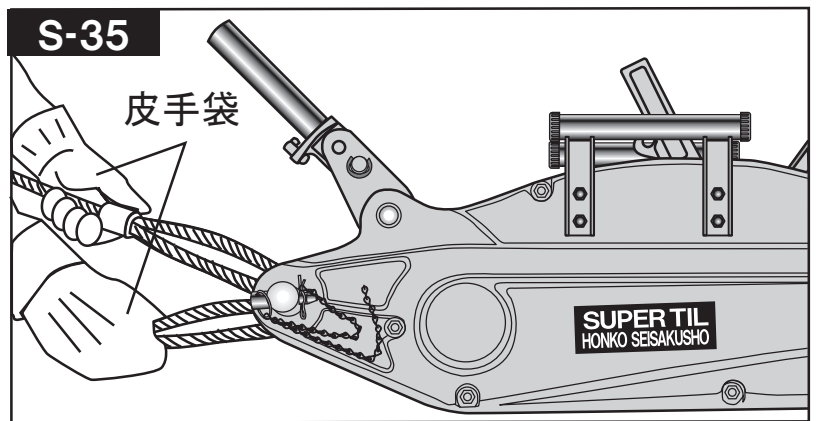


f) アンカーピン止めをRピンで止めます。



危険

台付けを行う時は、図のようにS-35はアンカーピンに確実に台付けワイヤーロープをかけてください。
 確実にかけないと、重大な事故の危険がありますので、注意してください。



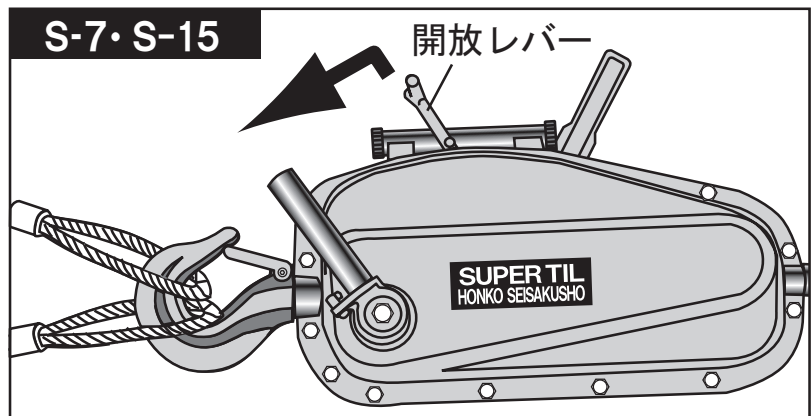
危険

台付けをする場合は、最大能力の2倍以上の耐力が必要です。なお、途中で滑車を使用する場合には、 $D/d \geq 20$ の式に従って用いてください。
 (Dは滑車のピッチ円直径、dはワイヤーロープの外径を表わしています。)

②開放レバーをロックします。

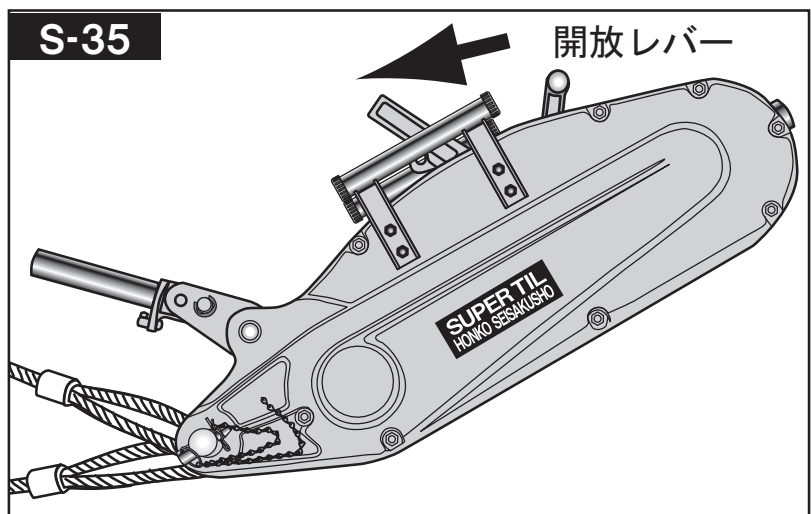
《S-7、S-15》

開放レバーを矢印の方向に倒し、歯止めにかかけます。



《S-35》

本体を斜めにして、開放レバーを矢印の方向に動かして、開放レバーをロックさせてください。

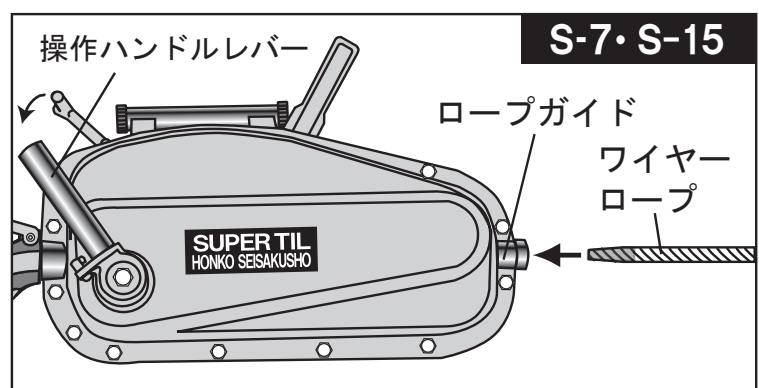


⚠ 開放レバーをロックしたままの状態、操作中断・保管はしないでください。開放レバーの Springs が弱くなり、故障の原因になります。

③ワイヤーをロープガイドから入れます。

※専用の新しいワイヤーの先端は、ロープガイドに入り易くするために溶断加工がしてあります。

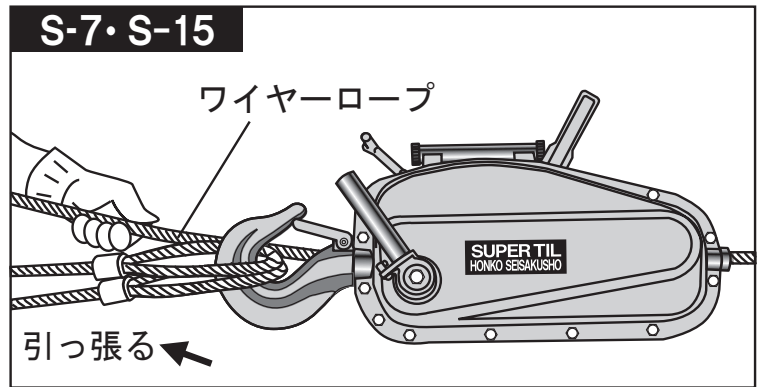
この時、操作ハンドルレバーは図の位置のように前に倒しておきます。



※S-35も同様にロープガイドから入れます。

⚠ 危険 ワイヤーロープ挿入前にキンク・索線切れなどが無いかを必ず確認してください。もし、ワイヤーロープに異常がある場合、そのまま使用されると危険であるうえに、故障の原因になりますので、必ず専用ワイヤーロープの新しいものと交換してください。

- ④ワイヤーがアンカーフック、及びアンカーピン側から出たら手で引いて、ワイヤーロープのたるみがなくなるまで引っ張ります。



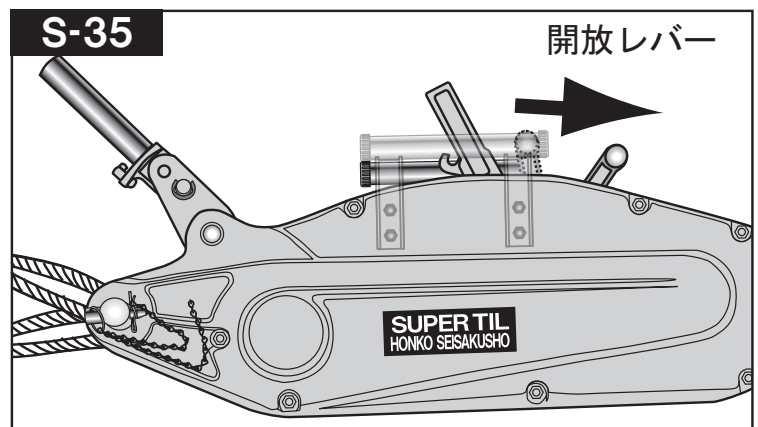
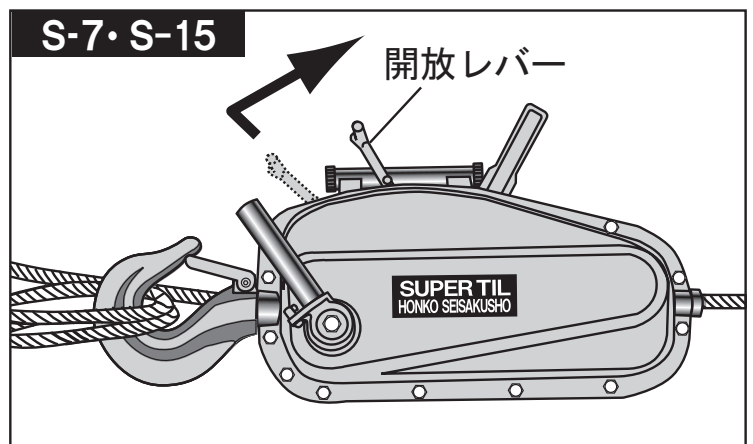
※S-35も同様に行ってください。

- ⚠ 引っ張り出す際、ワイヤーロープはスーパーチルに対して真っすぐに引いてください。無理な引き出しは、ワイヤーロープの損傷や本体の損傷につながります。

- ⚠ 引き出したワイヤーがキンクしたり損傷したりしないように管理してください。

- ⑤開放レバーを戻します。

※開放レバーを戻さないでスーパーチルの操作ができません。

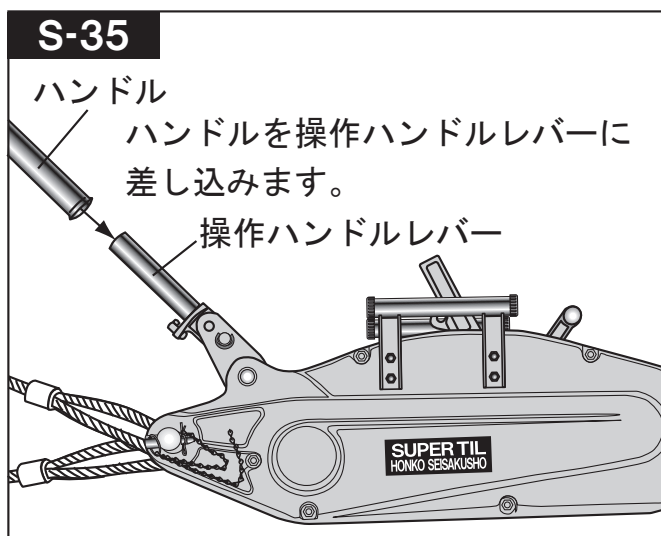
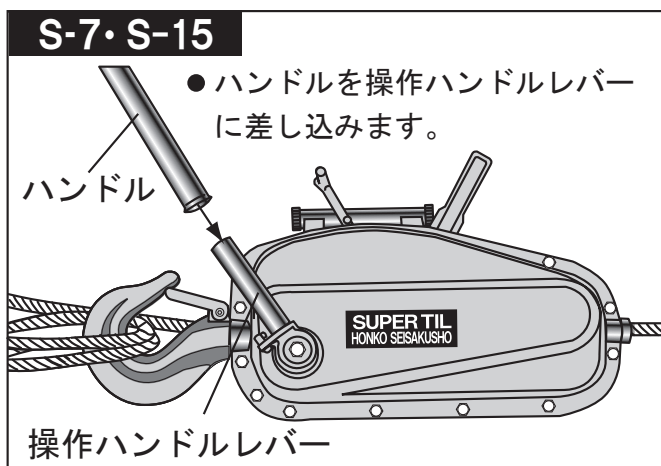
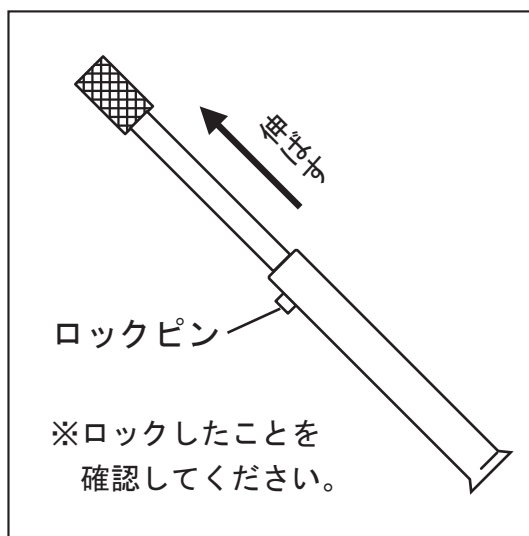


- ⚠ 開放レバーを勢いよく操作しますと、指づめなど指に傷を負うなどの恐れがありますので、極力ゆっくりと行ってください。

(2) 操作

① 前進 (吊上げ)

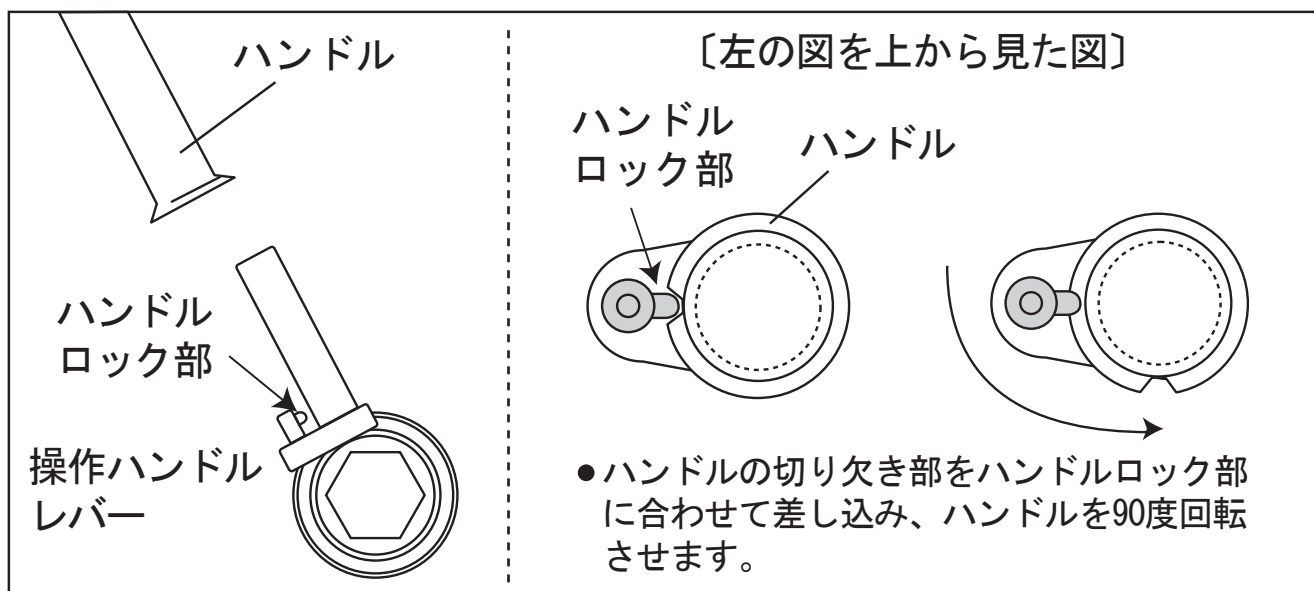
- a) ハンドルを伸ばして、ロックを確認してから操作ハンドルレバーに差し込みます。



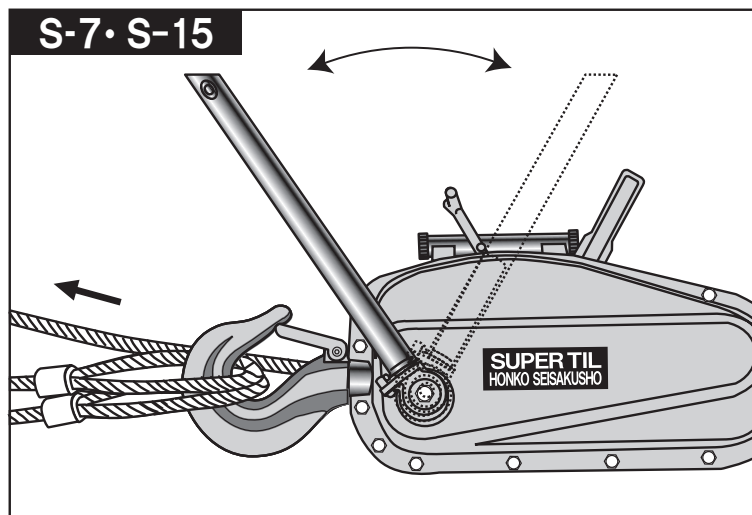
⚠ ハンドルを伸ばす時に手を挟まないように注意してください。
注意

⚠ ハンドルを縮める時も手を挟まないように注意してください。
注意

※ハンドルを操作ハンドルレバーに差し込む際は、下記の要領でハンドルロック部にセットしてください。



- b) ハンドルを左右に動かすと、逐次矢印の方向にワイヤーが出て行きます。



※S-35も同様です。

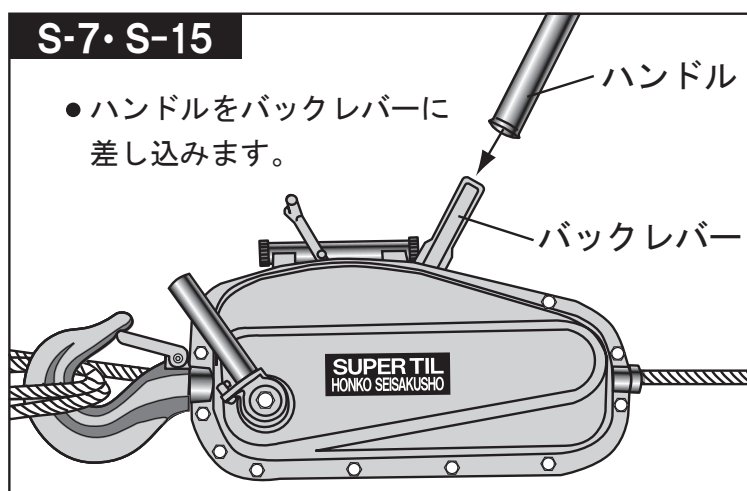
⚠ 注意 微動な作業以外は、ハンドルの操作はできる限り大きく動かしてください。

⚠ 注意 前進レバーとバックレバーを、絶対に同時に操作しないでください。

⚠ 危険 作業を中断する場合は、ハンドルを必ず抜いてください。

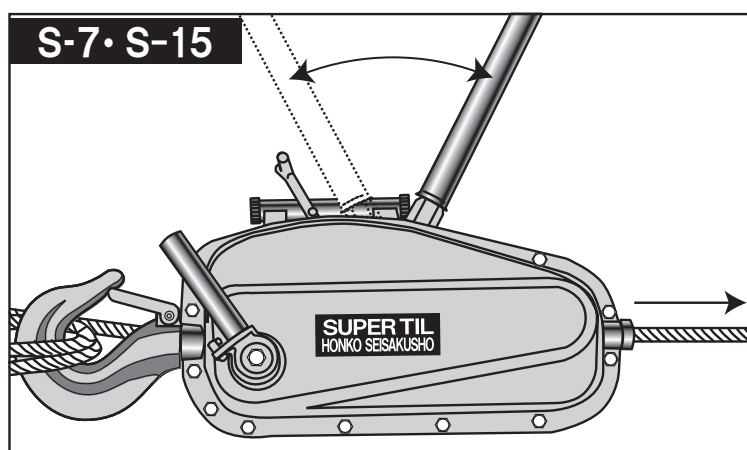
②後退（吊下げ）

- a) ハンドルを伸ばして、バックレバーに差し込みます。



※S-35も同様に行ってください。

- b) ハンドルを左右に動かすと、逐次矢印の方向にワイヤーが出て行きます。



※S-35も同様です。



微動な作業以外は、ハンドルの操作はできる限り大きく動かしてください。

注意



危険

作業を中断する場合は、ハンドルを必ず抜いてください。

(3) 作業上の注意事項

注意事項は必ず厳守して、安全な作業を心がけてください。

〈注意事項〉



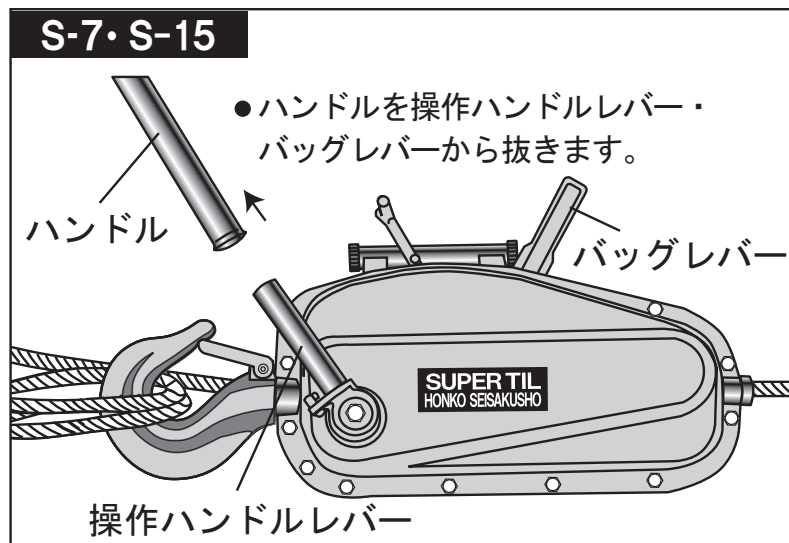
危険

ハンドルから手を放しても、本体内部のつかみ装置によってワイヤーは保持されているので、ワイヤーが勝手に出たりしません。万一、ワイヤーが保持できない場合は直ちに使用を中止して、お買上げの販売店に修理を依頼してください。



危険

作業を中断する場合は、ハンドルを操作ハンドルレバー・バックレバーから必ず抜いて、スーパーチルより離れてください。

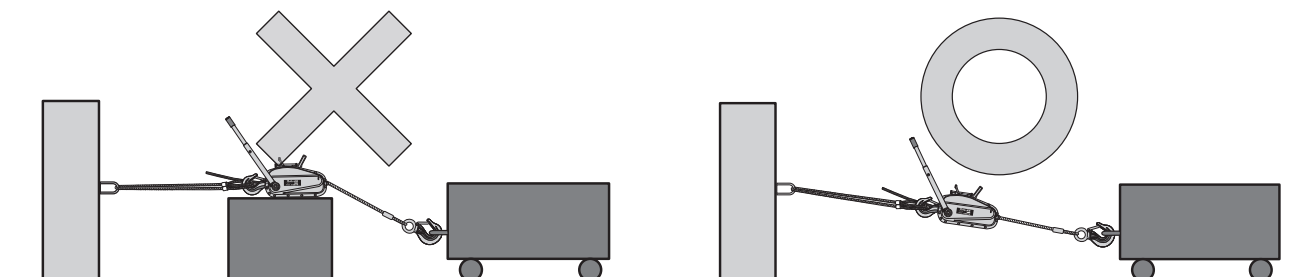


※S-35も同様に行ってください。



危険

作業中に本体ケースが変形するような使用方法はしないでください。必ずスーパーチル・ワイヤーロープ・牽引物、または滑車が一直線になるようにしてください。





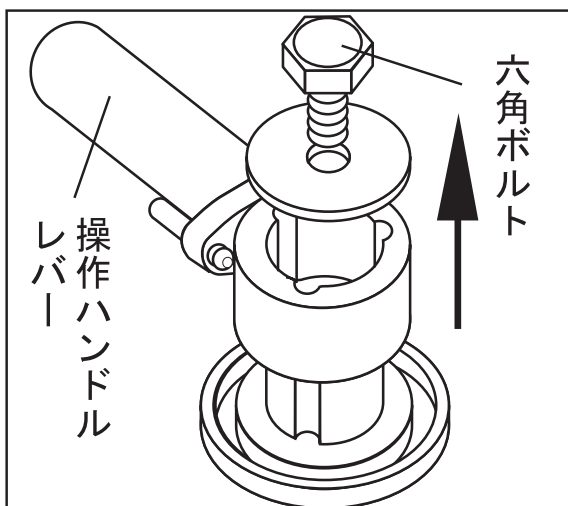
危険 最大能力(S-7／吊上げ能力800kgf、横引能力1,250kgf、S-15／吊上げ能力1,600kgf、横引能力2,500kgf、S-35／吊上げ能力3,200kgf、横引能力5,000kgf)より大きい荷重をかけないでください。スーパーチルの保護のための安全ピンが破断して作業ができなくなります。
もし、安全ピンが破断したら安全ピンを交換してください。

(安全ピンの交換)

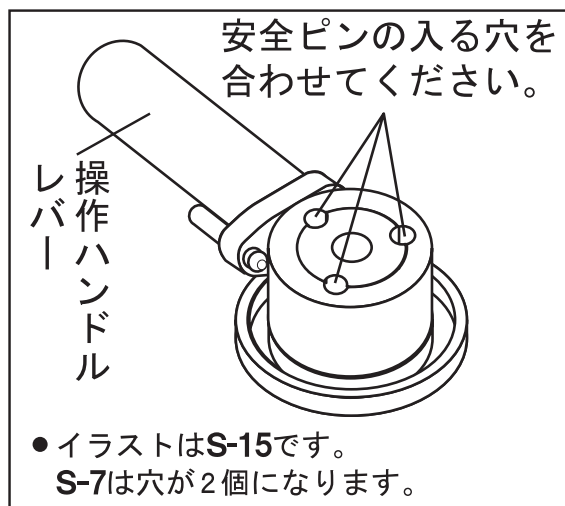
- 予備の安全ピンはキャリングハンドルの中に入っています。
- 予備の安全ピンを使用した場合は、必ず**当社純正の安全ピン**を補充してください。鉄製のピンは決して使用しないでください。**(純正安全ピン以外は禁止)**

《S-7・S-15》

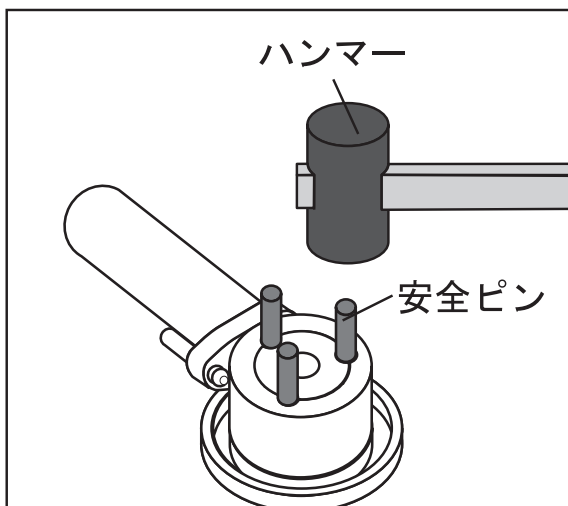
- ①操作ハンドルレバーを止めている六角ボルト・スプリングワッシャー・座金を外し、操作ハンドルレバーを外します。



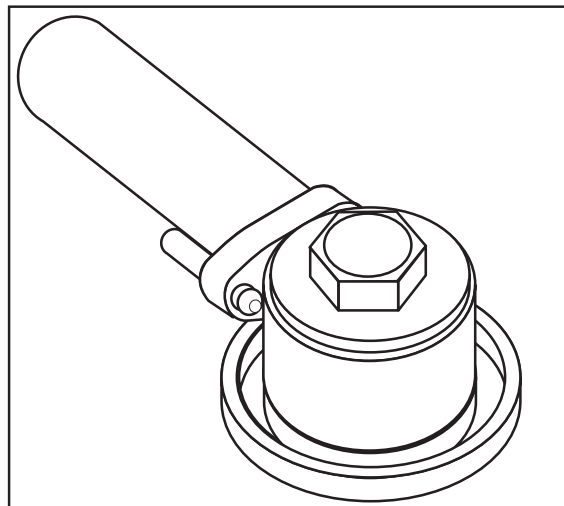
- ②操作ハンドルレバーを外して破断した安全ピンを取り、操作ハンドルレバーを取り付けます。



- ③キャリングハンドルから安全ピンを出してセットし、ハンマーで打ち込みます。

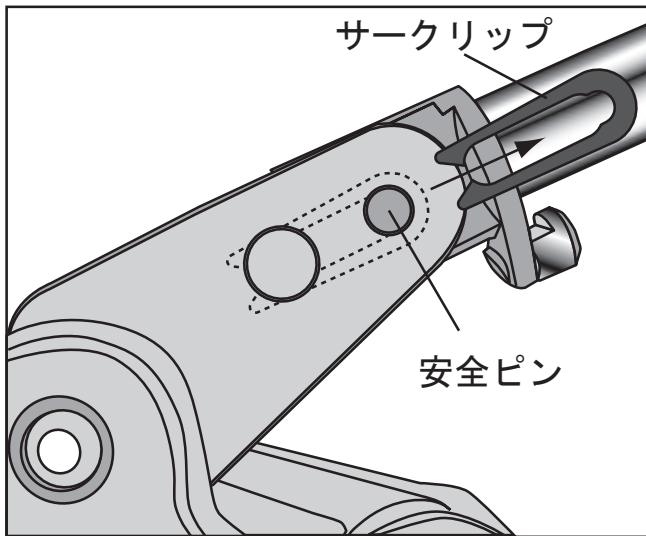


- ④座金・スプリングワッシャー・六角ボルトを取り付けて完了です。

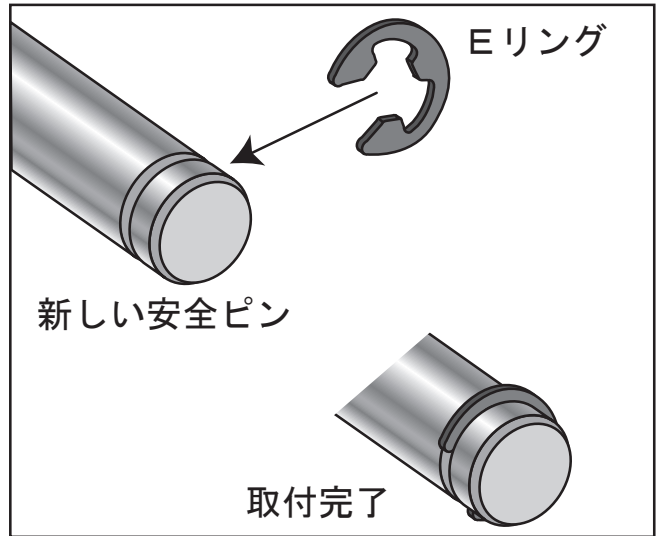


《S-35》

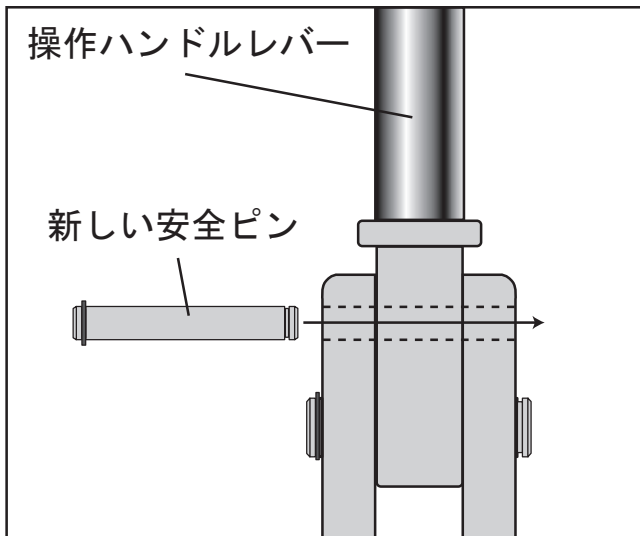
①破断した安全ピンを止めているサークリップを外します。



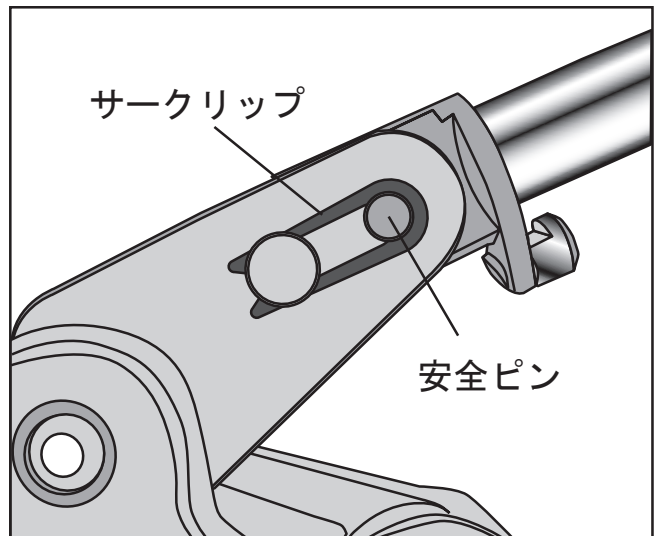
②破断した安全ピンに付いているEリングを外し、新しい安全ピンを取り付けます。




③新しい安全ピンを入れ、Eリングを取り付けます。

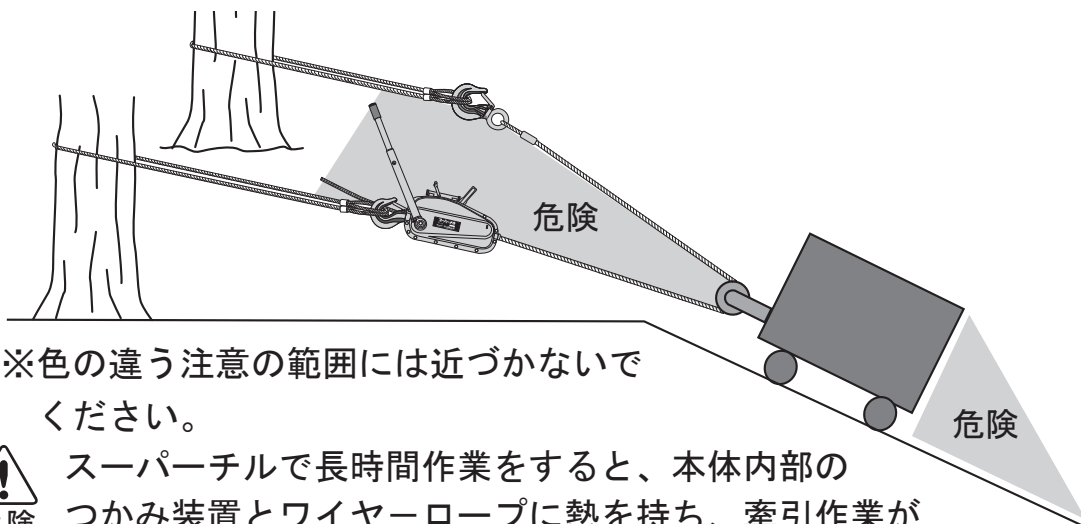



④サークリップで固定して完了です。





⚠ Eリング及びサークリップが確実に止められていることを確認してください。
注意

-  危険 牽引作業中はワイヤーロープや牽引物の周囲に近づかないでください。
ワイヤーロープが外れたりすると、事故の危険性があります。



-  危険 スーパーチルで長時間作業をすると、本体内部のつかみ装置とワイヤーロープに熱を持ち、牽引作業ができなくなる場合があります。その場合は直ちに使用を中止して、つかみ装置とワイヤーロープの熱を水などをかけずに自然に冷ましてから、牽引作業を再開してください。


-  危険 スーパーチルは決して分解点検しないでください。

-  危険 スーパーチルの使用中には、開放レバーを絶対に開放しないでください。

5、調整方法と保管方法

(1) ワイヤーロープの取扱方法

- ①ワイヤーロープの各部を点検し、キンクや損傷が無いことを確認します。
- ②コイル状に巻いてあるワイヤーロープは、無理に引っ張るとキンク等の原因になりますので、巻いてあるワイヤーロープを転がしながら解いてください。
- ③使用時に本体から引っ張り出したワイヤーロープは、キンク・損傷防止のため、ワイヤーロープリール等に巻いてください。

-  危険 ワイヤーロープを鋭利な角部に当てて作業をすると、大きな強度低下を招きますので、絶対にしないでください。

(2) 保管方法

- ①使用後の本体、及びワイヤーロープに付着した泥・砂・汚水等は乾いた布等で拭き取ってください。そのまま放置すると、本体ケース・ワイヤーロープのサビの原因になります。
- ②スーパーチルの保管時は、開放レバーを元に戻してください。スプリングが低下して機能が十分発揮できないことになります。
- ③ワイヤーロープは各部を点検し、キンクや損傷が無いことを確認して注油後、ワイヤーロープリール等に巻いてください。

- ④スーパーチルの投げ捨てや下積みはしないでください。ケースの変形、ボルトのゆるみ、作動不良の原因になります。
- ⑤長期の保管をする場合は、付属の油を開放レバー・バックレバーの本体開放部より注油してください。再度ご使用になる時は、同じ箇所に注油してからバックレバーを数回動かしてからご使用ください。
- ⑥使用後の本体、ワイヤーロープの保管は、乾燥した直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ⑦使用前に必ず注油してください。

付属のオイルが無くなった場合は、市販のチェーンオイル（粘度30～40番）をご使用ください。

※図のようにオイルを必ず注油してください。
注油されたらバックレバーを動かし、油が全体に行きわたるようにしてください。



(3) 保守点検

最低でも1ヶ月に1度は下記の事項を点検してください。

①スーパーチル本体

- a) 腐食・亀裂・変形・操作異常等の有無についての点検。
- b) ボルトの固定状態の点検。
- c) 安全ピンの破断・亀裂等の有無。正常状態かどうかの点検。
- d) 予備の安全ピンの有無の確認。（**無い場合はメーカーより取り寄せてください**）

②ハンドル

- a) 腐食・亀裂・変形・操作異常等の有無についての点検。

③ワイヤーロープの点検

- a) キンク・損傷等による異常の有無。

上記の保守・点検で異常がありましたら、直ちに修理か交換をしてください。交換の場合は、必ず専用ワイヤーロープをご使用ください。修理についてはお買い求めの販売店にご相談ください。



ワイヤーロープは消耗品ですので、キンク・索線切れなどが無いか確実に点検してください。

 **HONKO**

HONKO MFG CO. LTD

株式会社 **本宏製作所**

〒959-0296 新潟県燕市吉田法花堂1949-1

Tel:0256-92-3152 Fax:0256-92-6171

E-mail:sales.1@honko.co.jp

URL: <http://www.honko.co.jp>